

平成 29 年 11 月度 J-SCORE × 農研機構 合同講演会のご案内

この講演会は、一般社団法人日本シニア起業支援機構（J-SCORE）定例講演会（未来農林事業開発研究会関連）と農研機構市民講座の共同で開催します。

事務局

J-SCORE（未来農林事業開発研究会） 並木 輝夫
農研機構（広報課） 田中 康治

1【開催日時】平成29年11月18日（土） 13：30～17：00（受付：13：00～）

2【開催場所】港区新商工会館（東京都港区海岸1-4-28 TEL：03-3433-0862

※JR浜松町駅北口から徒歩10分（海岸方向へ直進。高速道路の手前の道路を右に100m先の右側の建物の2階 アクセス<<https://minato-shoukou.jp/access>>

3【主催】日本シニア起業支援機構（J-SCORE）、共催：農研機構（※1） 後援：港区商工会館

4【講演】司会：田中 康治 <13：30～16：55>

4.1【主催者挨拶】

□J-SCORE 定例講演会の紹介：松井 武久（J-SCORE 代表理事）<13：30～13：35>

□農研機構市民講座の紹介：田中 康治 <13：35～13：45>

4.2【講演1】 <13：45～14：45>

□表題：「竹林は地球の宝だ！～竹資源の多段階利用によるビジネス創出の提案～」

□発表者：佐野孝志（東京大学森林利用学研究員 兼 NPO 法人グリーンネットワーク理事長）

□紹介内容：最近、地域創生と竹林の話題が多く取り上げられている。そこで、「竹の100%活用ビジネス化と竹林の再生」について、多段階利用によるビジネス創出を紹介する。

①第一段階・・・放置竹林の整備（チップ処理による堆肥化、燃料化等）

②第二段階・・・乳酸発酵竹粉の生産と農業・畜産・食品への活用

③第三段階・・・工業製品向けの微粉末生産

④第四段階・・・竹粉ピュアーエキスの抽出生産

⑤第五段階・・・バイオマスプラスチックの生産

⑥第六段階・・・その他（ぬか床他）

4.3【講演2】 <14：55～15：55>

□表題：「シルク研究のいま—繊維だけじゃないシルクの使い方」

□発表者：小島 桂（農研機構（生物機能利用研究部門）新素材開発ユニット上級研究員）

□紹介内容：「カイコが作るシルク（絹糸）は、古くから高級繊維として織物などに利用されてきました。近年ではシルクを繊維としてではなくタンパク質原料として見直すことで、フィルムやスポンジ、ゲル、パウダーなどの様々な形状への加工技術が開発されています。講演では、この新しいシルク素材の作り方や利用法について紹介します。また、遺伝子組換えカイコが作る新しいシルクとその展開についてもあわせて紹介します。」

4.3【意見交換】 <16：05～16：55>

参加者から自己紹介、感想、意見、提案、情報提供など

4.4【事務局からのお知らせ】

次回講演会案内、その他

5【会費】非営利事業であり、実費（テキスト代、部屋代など諸経費）を参加者から頂きます。

□主催：J-SCORE 会員（未来農林事業開発研究会会員も含む）・・・1000 円

□共催：農研機構役職員・・・1000 円

□業務提携団体：ブレインワークス、(NPO) 科学技術者フォーラム (STF)、
(NPO) 農と食と健康)、その他契約先・・・1500 円

□一般参加者・・・2000 円

6【親睦会】

<18:30~20:30>

講演会終了後、JR 浜松町駅近くの飲食店で会食懇談会を行います。

希望者の方はご参加ください。参加費は 2500 円（参加申込の際、その旨を記述下さい）

7【申込方法】

申込手続きは、原則として（一社）日本シニア起業支援機構（J-SCORE）のホームページから
お願いします。<<http://www.j-score.or.jp/>>

なお、インターネットが使えない方は、下記の事項を記述の上、メールにて事務局宛に連絡く
ださい。

<申込に必要な事項>

①講演会の名称、②参加者名、③参加者の所属・役職名、④連絡先（電話番号）、⑤メールアドレス、⑥紹介者名、⑦J-SCORE 会員の有無、⑧未来農林事業開発の会員の有無、

<メールの送り先>

未来農林事業開発研究会 事務局 並木輝夫<namiki_teruo@mbh.nifty.com>

※1：農研機構は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム
（通称）です。この講演会の講演2が農研機構共催部分（市民講座）に該当します。

（注記1）会場は消防法の関係で定員 40 名以上は入場できません。先着順 40 名で受付を締め切
らせて頂きますので、お早めに申込をお願いします。

以上